

| | | | | |
|----------------|---|-------------|-------|---|
| PTA活動紹介 | | 高P連受付番号 | 3 | |
| PTA(学校)名 | 愛知県立岡崎北高等学校 | | 部門No. | 1 |
| 活動テーマ | カラダとココロのやさしさ体験 ～あなたの心を知る、私からひろがる共感～ | | | |
| キーワード | 思いやりの心を育む | 立場の違う他者への共感 | セルフケア | |
| 開催日 | 令和7年9月10日(水) 岡崎北高校 北高祭2日目 | | | |
| 場所 | 愛知県立岡崎北高等学校 研修棟(会議室・美術室) | | | |
| 時間 | 午前9時30分～午後3時 | | | |
| 参加者 | PTA役員8名 進路研修委員12名 生活指導委員6名 広報委員7名 講師7名 全職員・生徒 | | | |
| 趣 旨 | 医療ブース、福祉ブースの体験により、自分とは違う立場や状況を理解し、他者に目を向けられるやさしさ、思いやりの心を育む。 自己の体に向き合うことで、自分自身にも関心を持ち、自己の体、心も大切に感じる。 妊婦体験を通じて、将来の家庭のイメージを思い浮かべるとともに、自分とは違う状況の他者に気づくことにより、社会性の向上と、相手の気持ちに寄り添った行動ができる。 | | | |
| 活動ポイント | 学校(生徒、教師、保護者)と官民が連携・協同したPTA活動 学校・家庭の理解促進及び委員同士の交流が図れる参加型のPTA委員会活動 | | | |
| 主体委員会名・講師名等 | 主体委員会 岡崎北高等学校PTA進路研修委員会 講 師 岡崎市役所こども家庭センター：保健師1名、助産師1名、実習生1名 愛知医科大学メディカルセンター：看護師2名、理学療法士1名、経営企画課1名 | | | |

<ブース内容>

| 担当 | ブース | 内 容 |
|--------------------------|------------|--|
| <医療ブース> メディカル センター | バイタル測定 | 看護師の指導の下、血圧、脈拍、経皮的動脈酸素飽和度(SpO2)、呼吸数の測定 ペアになり、相手のバイタルを測定する 「バイタルチェックシート」に記入し、持ち帰ってもらう ※ペアがない場合は、手の空いている役員・委員がペアとなる |
| | 車いす体験 | 理学療法士の指導の下、車いすに乗る側、介助する側を体験 研修棟の廊下やスロープを使用し、1～2分程度のコースを自走、介助する ※ペアがない場合は、手の空いている役員・委員がペアとなる |
| | 熱中症対応 | 熱中症対応の資料の掲示 |
| <福祉ブース> こども家庭 センター | 妊婦体験 | 妊婦ジャケットを着用し、妊娠7、8か月の妊婦を体験 ジャケットを着用した状態で様々な動作を体験し、その大変さを実感する |
| | 沐浴体験 | 沐浴の様子を見学する 沐浴の注意点の説明 |
| | 赤ちゃんのお世話体験 | 抱っこ、着替え、体重測定を体験 赤ちゃんを名前と呼ぶ 母子手帳を手に取りどんな内容なのかを確認する |

<総括>

- 各ブースでは個人もしくは数人のグループに向けて、直接専門家による指導を受けたり話を聞くことができ、充実した体制でブース運営ができ、生徒には貴重な時間となったと思われる。
- 福祉ブースでは、実際の重量が再現された赤ちゃんの人形を使用したの抱っこ、着替え等のお世話体験や、7、8か月の妊婦が体験できる妊婦ジャケットの着用等、目で見て、触って、重さを体感して、よりリアルな体験ができた。
- 委員会で提案のあった生徒からの感想を個別に分けて掲示する案を採用し、実施したところ、見やすく、参加人数の集計も見て分かるため、生徒たちの関心も高かったとの声もあり、いい案であった。
- 妊婦体験を実施した生徒から「将来子どもができたときに役に立ちそう」との意見があった。また、車いす体験をした生徒からは「困っている人がいたら手助けしてあげたい」と感想が寄せられた。将来の家庭のイメージをもつことや、他者への思いやりの心を育むことを目的とした当ブースの目標が達成できた。
- バイタルチェックを体験した生徒からは「将来の自分の健康を考えるきっかけとなった」との感想があり、自己の体を知るよい経験になったと思われる。今後もセルフケアを続けて、自分にも優しく、周囲にも目を向けられる人材になってもらいたい。
- とにかく体感してほしい、知ってほしい、気付いてほしい思いから、体験中心のブースを企画した。生徒も参加して「初めて知った」との意見があり、今回のPTAブースの開催が有意義なものであったと感じた。

here! カラダとココロのやさしさ体験

<参加総数118名>

アンケート集計

【複数回答】

私もできるよ
沐浴体験

心得たり
熱中症対策

やるぞ!
バイタルチェック

感じてみたよ
妊婦体験

体を知ろう
車いす

みんなの声

| カテゴリ | 声 | 生徒の気づき |
|------------|---|---|
| 妊婦体験 | ・妊婦体験をしてみても母親の苦労が分かった ・産婦人科に入る前の妊婦は仕事も大変そうだなと思った | ・毎日この状態の女性はとてもしんどいだろうなと思った ・今回は一瞬だったけど、これを生まれるまで続けるのかと思うと尊敬する |
| 車いす体験 | 滑らかなところは行った事があつたけど坂のあるところは初めてだったので乗る方も緊張しました | 車いすのスロープの降り方を知らなかったのて、車いすを押す方になったら挑戦してみたいと思いました |
| 赤ちゃんのお世話体験 | ・背中や腰がつかう、かがんだりするときは足腰に負担がかかりつらい ・重くて衝撃的(女子) | 赤ちゃんは意外と重い、背を支えることが難しい。動いているともっと大変と感じる。その状態で見たり、運んだりはとてもつらく日常がこんなにつらいのは大変なと思った。 |
| 熱中症対応 | 熱中症は身近にあるものだから、暑さが降りていなくてもどうするかが分かった | 熱中症対応フローが紹介されており、症状発生時はどうすればよいか分かった |
| 血圧測定 | 初めてちゃんと血圧(手動実測)を測定してみても不思議な感覚だった | 血圧を手動で測る事ができるのを知らなかった |